

M W

下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

## 2) 洞縁概要図

- 木胴縁はALC用ビスを用い、455mm以下で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部・中間部・下端部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーはさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、ALC用アンカーはさみ固定式は1ヶ所留めとします。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

